

阿蘇に住みたい、それがすべての出発点でした。



火の国阿蘇の
恵みのブランド

阿蘇
Aso City

鹿児島出身(夫)と長崎出身(妻)の二人はアウトドア派。あちこち駆けめぐらううち、阿蘇にすっかり心を奪われました。「ここに住もう、ここで暮らそう」

あとさきは考えず、そのことだけが夫婦の結論となる。阿蘇に土地を得て、

夫は会社に勤務しながら通ってログハウスを完成させる。

そして、小学生の子どもたちもそろって移転。

とうとう阿蘇人家族に。さて、何を生業とするか。

夫婦は考え、やはり「木」だと思に至る。

夫は熊本の職業訓練校で家具づくりを学び、

さらに師匠について修業し、手づくり家具工房を立ち上げた。

「二十年経った今では笑話ですけど、たいへんな日々でした」

妻は語るが、むろん悲壮感などない。何もかもを愉しんでいる。

夫婦の明るさと度胸と心意気が、

今ひとつひとつの製品に染みんでいます。

あそ工房 橋口 靖・さつき

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。